

# 一般質問通告表

令和3年第4回始良市議会定例会（11月30日）

7. 上村 親	1. 始良市の財政状況について	<p>始良市の主役は市民であるが、行政運営をしているのは市民から負託された市長や市議会議員、そして適切に公務を執行している市職員である。</p> <p>現在、公共工事の多くは将来に向けての借金である起債という形の分割払いで借入れを行い執行している。このため起債という借金は20年後、30年後の市の財政運営に大きく影響するもので、将来を担う子ども達の生活を守る責任も当然負っている。</p> <p>これらを念頭に入れて以下を問う。</p> <p>(1) 合併後11年経過し、積立基金残高は34億6千万円であるが、これまでの事業執行を勘案し、今後一般単独事業や補助事業、交付金事業などを活用していくうえで平均的な補助率、交付税を想定しどのくらいのペースで執行できるのか示せ。</p> <p>(2) 財政調整基金や同様に活用できる基金の現在残高を比較して、今後10年後の始良市を考えてみた場合どの様に分析するか。今の始良市の公共事業の執行状況と同じ執行が可能かどうか具体的な根拠を示せ。</p> <p>(3) 旧始良町では合併か否かを財政シミュレーションを基に想定した財政予測を合併前の町議会に報告があった。交付税や一般財源の今後の見込みを示せ。</p> <p>また、これから新庁舎等大型事業の建設も見込まれるが、本市の財政運営を示す財政シミュレーションを作成する必要があると思うが考えを問う。</p>	市長 教育長
---------	-----------------	--	-----------

		<p>(4) 市長が議会に対し提示した「始良市の財政状況」で僅か5年間の財政見通しでは毎年約9億の赤字で試算され5年間で約45億の累積赤字となる。年々減額している財政調整基金残高は昨年決算で10億円弱であり、再来年には枯渇するのではないかと考えるを問う。</p> <p>(5) 始良市の標準財政規模は、いくらかになるのか。その数字と現在の予算額を比較してどのように分析しているか。</p> <p>(6) 令和3年度の当初予算編成は「始良市財政健全化緊急対策」の方針に沿って執行されているが、令和4年度の具体的対策の考えはあるのかその内容を問う</p> <p>(7) 今回、示された「始良市の財政状況」で財政健全化に向けた基本方針が掲げられている。「性質別経費区分別」の主な歳出削減策の具体的取組の内容を問う。</p> <p>(8) 市有財産の活用は、「公共事業での活用の要否について十分に検討を加えたうえで、市で活用予定のない財産は積極的に売却や貸付を行う。」としているが、活用予定のない市有財産はどのようなものか。</p>	
8. 堂森 忠夫	1. SDGsの取組と市の活性化について	<p>(1) 国連が推進するSDGsの趣旨をどのように捉え今後の行政運営に取り組む考えかを問う。</p> <p>(2) 始良市の活性化を考慮すると現状では、持続可能な地域開発や人材開発の遅れなど更には、働く職場が少なく</p>	市長 教育長

	<p>2.くすの湯温泉について</p>	<p>市の活性化は岐路にたっていると捉えるが、この課題を今後どのように取り組む考えか。</p> <p>(3) 始良市の未来を拓く庁舎建設が前進しているが、将来の市人口は減少の方向へ向くと捉えている。今後の市全体の活性化を考えると、職員採用等の検討や市民が定年後に働く職場づくり等を創出すべきではないかと思うが考えを問う。</p> <p>(4) SDGsを意識した成長を願うと業務分配の活性化を図る事により、難題解決や税金の活用拡大により、更なる活性化が可能と察するが、その目的を達成するためには、新たな第三セクター的な組織を構築し行政運営の効率化を図れないか問う。</p> <p>(5) 高岡公園周辺は、景観がよいため市民の憩いの拠り所として希望がある。しかし、周辺自治会は、高齢化で衰えていく状態である。この自治会のピンチをチャンスと捉えて、新たな持続可能な地域づくりとして、国が進める地方創生を推進し、ひと・もの・地域づくりを起こし地域活性化事業の創出を図るために、SDGs活動と連携・協働し官民一体型事業等の開発に取り組めないか問う。</p> <p>くすの湯温泉内の食堂部門の運営者が決まらない状態が長引くが、温泉内の施設利用拡大の対策等を講じられないか問う。</p>	<p>市長</p>
--	---------------------	---	-----------

9. 竹下 日出志	<p>1. マイボトルで ごみ削減について</p> <p>2. 健康チケット あいあいについて</p> <p>3. 税金や料金の 納付向上対策につ いて</p>	<p>鹿児島市は増加傾向にあるペットボトルごみ削減を目指しマイボトル持参を勧めており、マイボトル対応型の無料給水器がある施設をホームページで案内している。こまめな水分補給は熱中症対策にもつながり、積極的な利用を呼びかけている。</p> <p>本市は、中央図書館に無料給水器が設置してあるが、今後、総合運動公園体育館や公民館、新庁舎等にも設置する考えはないか。</p> <p>高齢者の積極的な社会参加と健康保持・増進、移動支援を目的とした「始良市健康・長寿支援チケット（健康チケットあいあい）」を交付している。</p> <p>現在、ごみ出し困難救済者事業を見直しているが、シルバー人材センターが実施している朝のごみ出し、資源物出しのワンコインサービスに、健康チケットあいあいを利用する考えはないか。</p> <p>鹿児島市では、市税をインターネットの専用サイトを利用して、クレジットカードで納付できる。また、スマートフォン決済アプリでの電子マネー等で、決済できるサービスを利用することで、手元に現金がなくても、「いつでも・どこでも・かんたん」に納付ができ、税金等の収納向上につながっている。</p> <p>本市では、銀行等の口座引き落とし以外の納付方法の種類と件数を問う。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>
10. 新福 愛子	1. HPVワクチン 勧奨再開について	子宮頸がんの原因となるウイルスの感染を防ぐ「HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン」の積極的な接種の呼びかけを一時中止してから8年以上が	市 長 教育長

	<p>2. 低出生体重児に対する支援について</p>	<p>経過する中、厚生労働省の専門部会は10月に再開を認める方向で一致した。</p> <p>「接種勧奨再開」となれば、市町村は義務である「周知」に加えて「勧奨」することになるが周知や勧奨の手段によって市町村間の接種率に大きな差が生じる可能性がある。「接種勧奨再開」を見据えた接種率向上への取組を問う。</p> <p>厚生労働省の人口動態統計によると2018年に生まれた赤ちゃんは91万8,400人。そのうち、出生体重が2,500g未満の赤ちゃんは8万6,269人(9,4%)、1,500g未満の赤ちゃんは6,742人(0,7%)であった。</p> <p>医療技術も向上し低出生体重児も無事に生まれ育つようになったが、特殊な状況に置かれた当事者への支援について以下を問う。</p> <p>(1) 本市におけるこれまでの取組に対する課題は何か。</p> <p>(2) 当事者親子への配慮すべき内容。</p> <p>(3) 多く自治体で導入が増えてきている低出生体重児の成長などを細かく記録でき先輩ママからの励ましを載せた冊子「LBHリトルベビーハンドブック」に対する認識と見解を問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
	<p>3. 女性に配慮したAEDの利用促進について</p>	<p>東京都多摩府中保健所では、女性に配慮したAEDの使用方法があることを広く周知し性別に関わりなくAEDを使用できるよう、さらにAEDの使用に対する心理的抵抗感を軽減できるように普及啓発資材を作成し市民に喜ばれている。先進地の取組を研究し、本市でも導入を検討できないか問う。</p>	<p>市長 教育長</p>